

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	446 林道整備事業					
予算科目	01-060201-11 林道整備に要する経費			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市農業基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	森林法、林道規程			SDGs	02飢餓をゼロに	
					08働きがいも経済成長も	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民、林業事業者
目的	森林事業の推進及び治山事業の効率的な施行に資する。
概要 (取組内容)	林道4線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持管理を実施する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	10,835	10,097	10,817	10,817	
	決算額	(千円)	7,673	9,802	9,663	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,671	9,200	8,861	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	600	800	0	0
		その他	(千円)	2	2	2	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,417	2,981	2,880	2,880	2,880	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	106.00	60.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	補修箇所 ( 箇所 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	林道4線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）の整備実績					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	横断側溝の交換工事を実施するとともに、道路幅員の狭い箇所については側溝にグレーチングを設置し対応した。	
成果	年間を通じて、林道4線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林の維持管理（除草、側溝清掃等）を実施し、林道利用者の安全を確保することができた。	
課題	業務	側溝等の設備が経年劣化していること及び、道路幅員が狭い箇所がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	県の補助金を活用した修繕工事を実施する等、適正な管理を実施する。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	447 身近なみどり整備推進事業					
予算科目	01-060201-12 森林保全に要する経費			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	02飢餓をゼロに	
					08働きがいも経済成長も	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民（森林所有者等）
目的	生活環境の保全及び自然景観の維持など平地林及び里山林の保全を図り、地域住民にとって快適で豊かな森林環境づくりを推進するため、地域住民の提案等による地域の整備目的に沿った森林づくりを行う。
概要 (取組内容)	森林所有者から整備要望のあった荒廃した山林について、茨城県の森林環境湖沼税を活用し、市が森林所有者に代わって下刈り、除伐等の整備を行い、施業後10年間は市と森林所有者との協定に基づき、森林所有者が維持管理を行う。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	26,517	23,866	0	0	
	決算額	(千円)	10,696	10,897	13,035	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,650	1,816	1,837	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	9,046	9,081	11,198	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	4,095	3,744	3,612	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.50	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	140.00	80.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	森林保全協定締結数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	実績	19.0	12.0	18.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	身近なみどり整備推進事業の整備地において、適正管理が行われていないことにより市民から苦情等があった場合に、森林所有者に適正管理通知を送付し、森林の保全に努めるように促している。	
成果	森林保全協定により森林の整備を実施したことにより、地域の景観や健全な森林環境の向上に成果を上げた。	
課題	業務	協定期間中に、所有者による適正に管理が行われていない森林が見受けられることから、事業実施後の所有者による適正な森林整備の周知徹底が必要である。
	組織、予算等	特になし
改善目標	協定期間中に適正な管理が行われていない森林について、森林整備を依頼する通知を送付し、森林環境の向上を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

#### 方向性

方向性	終了	
理由	県の補助金事業である身近なみどり整備推進事業は、令和3年度で終了となるため。	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	448 森林整備事業（旧：筑波山市有林整備事業）					
予算科目	01-060201-12 森林保全に要する経費			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市森林整備計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	森林法			SDGs	02飢餓をゼロに	
					08働きがいも経済成長も	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民及（山林所有者等）
目的	健全な森林環境を維持し、森林の持つ公益的機能である地球温暖化防止、水源涵養などを促進する。
概要 (取組内容)	森林ボランティア団体との協働による保全管理を実施する。 筑波山市有林保全活用指針に基づき、自然環境に対する保全と森林利用を増進する。 業者委託による管理道の修繕を実施する。 造林用苗木の斡旋、県補助事業の申請及び推進 造林を推進する広報活動(市報・HP等)

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,664	13,713	20,977	20,977	
	決算額	(千円)	1,126	3,252	4,564	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,074	3,213	1,531	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	2,998	0	0
		その他	(千円)	52	39	35	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,232	747	1,440	1,440	1,440	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	27.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	森林ボランティア団体による下草刈り、間伐の実施。
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	森林ボランティア活動回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0
	実績	10.0	5.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、森林整備を実施した。	
成果	森林ボランティア団体などの市民協働による森林保全整備を実施し、総参加者56人により1.5haの森林整備を行うことができた。	
課題	業務	新型コロナウイルスの影響により、森林ボランティア団体による森林保全整備が一部中止となった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	新型コロナウイルス感染予防に配慮して森林ボランティア活動を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	450 高崎自然の森管理事業					
予算科目	01-060201-13 高崎自然の森管理に要する経費			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	02飢餓をゼロに	
					08働きがいも経済成長も	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民
目的	利用者に自然の魅力を提供する。
概要 (取組内容)	委託による年間の管理作業として、施設の清掃、ゴミ拾い、除草等を実施する。 森林ボランティア団体との協働による森林の保全管理を実施する。 NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や森林体験、ブルーベリー収穫体験や剪定講習会を年間で実施する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	14,442	11,822	11,822	11,822	
	決算額	(千円)	21,322	12,259	11,297	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	21,276	12,211	11,242	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	46	48	55	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,911	747	721	721	721	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	27.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	森林ボランティア団体による下草刈り、間伐の実施。
評価、検証	-

## 指標の推移

指標名	体験イベント参加者数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
実績	693.0	184.0	98.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	森林保全活動の際には参加者に飲料の提供等を行い、熱中症予防に努めた。	
成果	森林環境の保全と育成を図り、利用者に自然とのふれあいの場を提供することができた。また、イベント等により、里山や森林が持つ公益的機能の必要性を伝え、親子で学ぶ機会を提供するとともに、市民協働の森林保全活動を実施することができた。	
課題	業務	温暖化により熱中症リスクが高まったことや園内でスズメバチやマムシの発生が確認されていることから、平常時やイベント開催時の安全対策が必要となっている。
	組織、予算等	特になし
改善目標	イベント開催時には、熱中症対策のため、水分や塩分補給をこまめに行うようイベント運営受託者と調整しながら実施する。また、危険な生物について危険箇所や見つけた際の対応についても協議する。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	037 森林環境譲与税基金事業					
予算科目	01-130216-11 森林環境譲与税基金積立金			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、つくば市森林環境譲与税基金条例			SDGs	02飢餓をゼロに	
					08働きがいも経済成長も	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民（森林所有者等）					
目的	譲与される森林環境譲与税を基金積み立てし、中長期的な計画により活用する。活用事業は、①森林経営管理制度、②里山林整備推進事業、③木育事業及び木工体験、④市有林・林道維持管理事業である。					
概要 (取組内容)	喫緊の課題である森林整備に対応するため、森林環境税を財源として令和元(2019)年度から森林環境譲与税の譲与が開始され、市町村や都道府県に対して、私有人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与される。 森林環境譲与税の使途として市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることとする。					

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	11,089	23,588	23,566	30,924	30,924	
	決算額	(千円)	11,089	21,861	24,556	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	11,089	21,861	24,556	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,257	2,172	5,589	5,589	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.30	0.30	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	88.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	森林経営管理制度により、人工林（すぎ、ヒノキ、マツ）の林業経営の効率化を図る。
企画・立案、計画	森林経営管理権集積計画を策定することで、市は森林所有者から森林の管理権を取得する。
実行	市に森林の経営管理を委託したいかについて、森林所有者638名（森林総面積549ha、2,582筆）に対して意向調査を実施した。
評価、検証	森林所有者134名（森林総面積106.61ha、534筆）から市への委託希望があった。今後、林業経営に適した人工林であるかを現地調査等により確認する。

## 指標の推移

1	指標名	森林環境譲与税の活用事業の活用実績（実施費用）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	12,157.0	18,421.0	35,187.0	42,642.0
	実績	0.0	1,705.0	2,997.5	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	森林経営管理制度に則り、森林環境譲与税を活用して森林所有者に対して森林の経営管理方針についてのアンケート調査を実施した。	
成果	アンケート調査の対象区域において、約6割の森林所有者から回答があり、この結果を基に森林経営に適している森林を抽出していくことができる。	
課題	業務	森林経営管理制度以外に森林環境譲与税を活用する事業を検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和3年度で事業が終了する身近なみどり整備推進事業の後継事業として、森林環境譲与税を活用した里山林整備推進事業を令和4度から実施する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	森林環境譲与税を活用した事業の増加が見込まれるため。	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	069 鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業					
予算科目	01-040107-15	自然環境・有害鳥獣対策に要する経費			担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室
市長公約	83				係名	
戦略プラン					新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	茨城県第12次鳥獣保護事業計画、つくば市鳥獣被害防止計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	鳥獣保護法				SDGs	15陸の豊かさを守ろう

## 事業の概要

対象	市民、市内に住宅や農地等を所有する者
目的	有害鳥獣による農作物被害や生活被害等の防止
概要 (取組内容)	つくば市鳥獣被害防止計画に基づき猟友会へ有害鳥獣捕獲委託を行っている。 イノシシ被害防止のため、防護柵等の設置費用の一部補助を行う。 狩猟者の確保のため、狩猟免許取得費用の一部補助を行う。 イノシシの捕獲推進のため、イノシシ捕獲報奨金制度を実施する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	8,647	8,736	8,736	8,736	
	決算額	(千円)	0	6,664	4,637	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	5,145	4,045	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	1,519	592	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,747	3,612	3,612	3,612	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	141.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	つくば市鳥獣被害防止対策協議会に被害地域区長の参加
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	イノシシ捕獲頭数 ( 頭 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	210.0	550.0	550.0	0.0	0.0	0.0
	実績	350.0	505.0	193.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	狩猟免許補助利用者数 ( 人 )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	豚熱等の影響によりイノシシの捕獲数は減少したものの、鳥獣被害防止対策協議会と連携し効果的に捕獲を推進した。	
成果	有害鳥獣捕獲による生活環境被害防止に寄与した。 狩猟免許補助金制度活用し猟友会加入者の増加を図ることが出来た。	
課題	業務	イノシシ等の被害状況を継続的に確認し、捕獲活動及び被害を未然に防ぐための啓発活動を行う必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	鳥獣被害防止対策協議会と連携し、被害状況等の情報を活用し更なる被害防止を推進する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	